

とも（共・友）にいきる（生・活）

児 童 第3学年 13名 第4学年 19名 計 32名

授業者 川島 菜夏子, 加古谷 孫一郎, 大下 美穂, 藤岡 美佐子

場 所 小3・4年教室

1 単元設定の理由

【単元の日標】

- 福富町の自然環境について調べ、活動することを通して、自分たちの生活と自然や「里山づくり」とのつながりを理解し、その過程で考えたことや感じたことを実践したり表現したりするとともに、地域の自然を守るために自分たちにできることを見つけることができるようにする。

【児童の実態】

- 事前アンケート（6月）では、「地域の方から聞いたことを生かしながら、学習を進めることができる。」の項目において肯定的回答をした児童の割合は61.3%と低い。地域人材の活用は充実していたが、それらを自分たちの学習に生かし切れておらず、「里山づくり」に対するイメージや課題を明確にできていない児童が多い。また、「友達の考えのよさに気づき、きょうかんしようとすることができる。」の項目において肯定的回答をした児童の割合は83.9%と比較的高かった。しかし、主体的に学習を進める中で、自分の思いだけに固執してしまい、友達の考えを生かしながら協力して取り組むことが苦手な児童もいる。

【単元観】

- 東広島市の6割を占める森林の多くは「里山」と呼ばれ、以前は豊かなマツ林が広がっていた。しかし、森林所有者の高齢化、鳥獣害、放置竹林などにより、「里山」の荒廃が進んでいる。福富町も、まさにその典型例で、地域の自然を保つことが難しくなっている。しかし、そのような状況下でも、「里山」に関わる地域の方々が福富のよさを守り、次の世代に伝え残そうとしている。このような思いに触れることで、自分たちと地域とのつながりについて学ぶことができる単元である。

地域の方々とともに「里山づくり」に関わることで、自分たちの生活と自然とのつながりに気づき、自分たちの住む町の課題やその解決に対して、主体的に学習に取り組む態度を養うことができる。

【指導にあたって】

- 「里山」に焦点を当てた展開

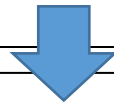
第一次では、昨年度の活動について、4年生から3年生に報告をさせることで、総合的な学習の時間がどのような時間なのかを3年生に理解させる。その上で、福富町の「森」「畑」「生き物」に着目させることで、児童が地域や地域の自然に関心をもつことができるようにする。福富町の自然を守るための活動と、「里山」というキーワードとの関わりに気付かせるために、地域の山林に詳しい方に「里山づくり」についての児童の疑問を児童と一緒に整理していただく。自分たちの活動と里山とのつながりを考えさせ、地域の自然を保全している人たちを手掛かりに、自分たちの町を大切にしたいという児童の思いを具現化させ、発信するという第二次の表現活動へとつなげていきたい。

- 異学年でのグループ探究

テーマごとの縦割りグループに分かれる。自らが調べ追究したテーマをもち、異学年グループで活動することで、4年生はリーダーとしての役割を担う機会となる。異学年間での活動の中で、一部の児童だけで進めることがないよう、意見を言いづらい児童に対してどう思っているかを教師が問い、発言するように促すことで、グループ全員の意見を共有できるようにする。

2 単元構想ストーリー

3 年 生	4 年 生	地域との連携 体験活動・資料	児童の意識 の流れ												
<p>○総合的な学習の時間がどのような時間なのかを理解する。</p> <p>○福富のいい所について整理する。(主に自然について)</p>	<p>○昨年度の学習を振り返り、3年生に伝える成果と課題についてまとめる。</p> <p>○「里山」とは何かについて、情報収集する。</p>		<p>○「里山」についてももう一度整理しておこう。</p> <p>○森を手入れすることは自然を守ることに繋がっている。</p> <p>○自分たちにできることはないかな。</p>												
<p>○昨年度行ってきた活動を振り返り、どんな活動(体験・調査)を行いたいかをもとにグループを編成する。目的と活動とのつながりを明確にしながら学習の計画を立てる。</p>		<p><資料> 4年生作成の報告用スライド</p>													
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;">木</td> <td style="width: 25%;">森</td> <td style="width: 25%;">畑</td> <td style="width: 25%;">川</td> </tr> <tr> <td colspan="4">各グループでの活動</td> </tr> <tr> <td colspan="2">体験</td> <td colspan="2">調査</td> </tr> </table>		木	森	畑	川	各グループでの活動				体験		調査		<p><地域との連携> 賀茂地方森林組合 きこりや すいすい倶楽部 賀茂地方森林組合 東広島市役所 社会福祉協議会</p>	<p>○自分たちの知識や理解ではまだまだ足りないことがありそうだ。</p> <p>○課題を解決するために、教えてほしいことがある。</p> <p>○活動を行うために地域の人に手伝ってもらいたい。</p> <p>○実際に活動しただけではなく、続けることが大切なのか。どうすれば続けられるかな。</p> <p>○保護者や地域の人に伝えて、活動を続けたり広めたりしたい。</p>
木	森	畑	川												
各グループでの活動															
体験		調査													
<p>○「里山」というキーワードから連想することを広げる。福富の自然を守るために、豊かにするために何が必要なのか、また、「里山」と自分たちの取組がどのような関わりがあるのかなど、自分たちの課題を把握する。</p> <p>○目的と活動とのつながりを明確にしながら活動を継続する。</p>		<p><地域との連携> 社会福祉協議会 福富支所 竹仁地域センター 久芳地域センター 上戸野地域センター</p>	<p>○福富に住む人たちみんな、これからも福富の自然を守っていききたいな。</p>												
<p>○行った活動についてだれに報告、紹介したいかを考える。</p> <p>○報告、紹介する方法について、よりよい方法を考える。</p>															
<p>○学習を通して感じた自分たちの思いや願いを、どのように伝え残していくかを考える。 本時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の催しに参加し、活動を報告する場を設けさせてもらう。 ・地域センターや支所に紹介コーナーを設けさせてもらう。 ・学校行事を活用し、保護者や地域の人に伝える場を設けさせてもらう。 															
<p>○今年度の学習を振り返り、来年度の3年生に伝える成果と課題についてまとめ、発表の準備をする。</p>			<p>○活動を通して、これからの生活にも役立てよう。</p> <p>○福富の自然を守るための活動を続けるために、学習したことを整理しておこう。</p>												



めざす児童・生徒像

福富のよさを守り、次の世代に伝え残そうとしている人と出会い、その人たちの思いや考えを知ることを通して、福富の地域に誇りを持ち、福富町の自然を守るために、自分にできることは何かを考えることができる児童

3 単元の評価観点・評価規準

評価の観点		評価規準	
		A	B
知識・技能	① 知識	○福富の自然を守ることと里山づくりの間に関わりがあることを <u>具体的な例とともに理解している。</u>	○福富の自然を守ることと里山づくりの間に関わりがあることを理解している。
	② 技能	○里山づくりで自分たちにできることについて、 <u>多様な方法で情報を収集している。</u>	○里山づくりで自分たちにできることについて、情報を収集している。
	③ 探究的な学習の良さの理解	○里山づくりの活動を進める中で、 <u>試行錯誤した上で探究的な力が付いたと感じている。</u>	○里山づくりの活動を通して、探究的な力が付いたと感じている。
思考・判断・表現	① 課題の設定	○里山づくりにおいて、 <u>自分たちのやりたいことを実現するための課題を見つけ出している。</u>	○里山づくりにおいて、課題を見つけ出している。
	② 情報の収集	○里山づくりについて、課題を解決するために <u>必要な情報を収集することができる。</u>	○里山づくりについて、課題を解決するための情報を収集することができる。
	③ 整理・分析	○里山づくりにおいて自分たちのやりたいことについての課題に対して、集めた情報をもとに、 <u>何ができるかを比較して考えている。</u>	○里山づくりにおいて自分たちのやりたいことについての課題に対して、集めた情報をもとに考えている。
	④ まとめ・表現	○里山づくりの活動の中で考えたことや感じたことを、 <u>分かりやすくまとめている。</u>	○里山づくりの活動の中で考えたことや感じたことをまとめている。
主体的に学習に取り組む態度	① 自己理解・他者理解	○友達の考えを受け入れ、 <u>それぞれの考えのよさを生かしながら探究的な活動に取り組もうとしている。</u>	○友達の考えを受け入れながら探究的な活動に取り組もうとしている。
	② 主体性	○課題の解決に向けて、目的をもって <u>計画的に</u> 学習に取り組もうとしている。	○課題の解決に向けて、目的をもって学習に取り組もうとしている。
	③ 協働性	○他者の意見を聞き、自分の意見と違った場合でも、そのよさを認め、 <u>自分の意見を見直しなが</u> ら取り組もうとしている。	○他者の意見を聞き、自分の意見と違った場合でも、そのよさを認め、共感しようとしている。
	④ 将来展望・社会参画	○福富町の自然を守るために、 <u>自分に</u> できることは何かを考えることができる。	○福富町の自然を守るために、できることは何かを考えることができる。

4 単元計画【地域探究学習のみ（全40時間）】

小単元 (時数)	小単元の目標と主な学習内容 ◎ねらい ○学習内容	評価の観点	教科・特別活動 等との関連
1 課題設定の準備 (2時間) ※4年生のみ	<p>◎昨年度の成果と課題を3年生に伝えて、総合的な学習の時間がどのような時間なのかを確認することができる。</p> <p>○昨年度の学習について、成果や課題を振り返る。</p> <p>○自分たちがしてきたこと、目標としていることを考え、3年生に伝える準備をする。</p>		
2 導入・課題設定 (5時間)	<p>◎自分たちにできることを考えることができる。 ～目指せ福富「里山づくり」～</p> <p>○昨年度の活動内容を知り、総合的な学習の時間がどのような時間なのかを理解する。</p> <p>○「森林」「田畑」「生き物」というテーマに向かって、取り組みたいことを考え、それらを実現するために必要なこと、疑問に思ったことや不思議に思ったことを出し合う。</p> <p>○「里山」について調べ、自分たちの活動とのつながりを確認する。</p>	<p>知①</p> <p>主②</p> <p>思①・主①</p>	<p><3年理科> 生き物を調べよう 植物を育てよう <4年理科> 季節と生き物 <4年道徳> 『ふれあいの森』で D 自然愛護</p>
3 情報収集 (22時間) 整理・分析	<p>◎自分たちの思いや考えを実現するために必要な情報を、どのように収集するかを考え、実際に集めることができる。</p> <p>○自分たちの思いや考えを実現させるために、必要なことを考えたり、行ったりする。</p> <p>○自分たちの思いや考えを実現する方法を明確にし、計画を立てる。</p> <p>○活動を進めるために必要な情報をもっている地域の人を探す。</p> <p>○実際の「里山」を見て、自分たちの活動とのつながりを確認し、理解を深める。</p> <p>○計画をもとに、活動を実行する。</p> <p>○実行した活動について、自然を守ることとのつながりを意識しながら振り返る。</p>	<p>主②</p> <p>思②</p> <p>思③</p> <p>知②</p>	<p><3年道徳> ヌチヌグスージ (いのちのまつり) D 生命の尊さ <3年社会> はたらく人とわたしたちの暮らし <4年社会> 特色ある地域と人々の暮らし 健康なくらしとまちづくり <4年国語> お願いやお礼の手紙を書こう</p>

<p>4 まとめ・つなぐ (10時間)</p>	<p>◎自分たちが取り組んできたことや、活動を通して感じた思いや願いを、だれに、どのようにして伝えるかを考えることができる。</p>		<p><3年国語> 案内の手紙を書こう 自分の考えを伝えよう <4年国語> みんなで新聞を作ろう</p>
	<p>○自分たちや地域の方の思いや願いをもとに、取り組んできたことをどのように残していくかを考える。(本時)</p>	主①	
	<p>○伝えたいことを整理する。 ○よりよい表現方法を考える。 ○自分たちが取り組んできたことや、活動を通して感じた思いや願いを、関わった人に対して学びの成果として伝える。 ○次年度の3年生に向けて成果と課題をまとめる。</p>	知③	
<p>5 振り返り (1時間)</p>	<p>◎活動を振り返ったり、自分の生き方を見つめ直したりすることができる。</p> <p>○活動を通して感じた思いや願いをもとに、自分の生き方を考えたり、見直したりする。</p>	思④・主④	

5 本時の目標

自分たちや地域の方の思いや願いをもとに取り組んできたことを整理し、いつ、どこで、だれに、どのように伝えるかを考えることができる。

6 本時のルーブリック




A	B
<p><u>☆友達の考えを受け入れ、それぞれの考えのよさを生かしながら探究的な活動に取り組もうとしている。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇さんの意見の～～という部分と、△△さんの意見の～～という部分は□□という点で共通しているね。 ・〇〇さんの意見と、△△さんの意見を組み合わせることができないかな。 ・〇〇さんの意見を聞いてから考えたら、こんなアイデアも思いついたよ。 	<p><u>☆友達の考えを受け入れながら探究的な活動に取り組もうとしている。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇さんの意見も△△さんの意見もいいね。 ・〇〇さんは～と考えているんだね。 ・～という考えはどうか。

7 学習の流れ

学習活動と予想される児童・生徒の反応 主な発問 (○)	指導上の留意事項 (◇) 評価基準 (☆) ◆努力を要する状況と判断した児童・生徒への指導と手立て
<p>1 学習の中でお世話になった方々のメッセージ動画を視聴する。</p> <p>2 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">伝えたり続けたりするために必要なことを、視点をもって考えよう。</p> </div> <p>3 各グループ（森（アロマ）・森（竹）・川（共生）・川（生き物）・木・畑）の進捗状況を確認する。</p> <p>○里山づくりのためのグループのゴールを思い出して、それに向けて何をしてきたのか考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【森（アロマ）】福富でとれる植物を使ってアロマを作ることで、自然の活用方法を地域の人に知ってほしい。 ・【森（竹）】竹を使ったものを作ることで、森が荒れるのを防ぎたい。 ・【川（共生）】川の生き物を守るだけでなく、災害から人を守ることとの両立をしたい。 ・【川（生き物）】川の生き物を守りたい。 ・【木】森の落ち葉を活用して、肥料を作り、畑グループに使ってほしい。植林を行って、福富の森を整備したい。 ・【畑】畑づくりで困っている地域の人を助けることで、土地利用を継続し、里山を再生させたい。 <p>4ブレインストーミングをする上での視点を確</p>	<p>◇地域の方の思いに改めて触れることで、思いや考えを伝え残したり、取組を続けたりすることへの使命感をもつことができるようにする。</p> <p>◇グループごとの進捗状況を整理したワークシートを用いて、活動のゴールを思い出せるようにする。</p> <p>◇いつ、どこで、だれに、どのようにという視点を確</p>

<p>認する。</p> <p>○本時のめあてについて、以下のように活動する。</p> <p>①自分の意見を付箋に書く。</p> <p>②意見を出し合う。</p> <p>③意見を出し合う中で新たに生まれた考えを付箋に書いて出す。</p> <p>・拡大参観日で、地域の人に活動を発表して伝えたい。</p> <p>・実際にアロマを使ってもらうことで、福富の自然のよさを知ってほしい。</p> <p>・川をきれいにするために、日ごろから水を大切に使うことに気を付けてもらう呼びかけをしよう。</p> <p>・来年の3年生にも活動を知ってもらって、グループでの活動を続けてもらいたい。</p> <p>5 本時の振り返りをする。</p> <p>・友達の意見を聞いてから考えたら、新しい考えが生まれた。</p> <p>・友達の考えと似ているところもあったので、次の時間にもう少し聞いてみたい。</p>	<p>認することで、グループ活動時に整理しやすい環境にする。</p> <p>◇グループごとの活動内容をもとに、思考ツール（Xチャート）を用いて整理することで、視点をもって意見を出し合うことができるようにする。</p> <p>◇自分で考えた意見と出し合う中で生まれた考えの付箋の色を変えることで、自分の意見との違いやよさに気付くことができるようにする。</p> <p>◇自由な意見交換を通して柔軟に発想を広げ課題を設定していくことで、新しい気付きを得ることができるようにする。</p> <p>◇ブレインストーミングのルールを周知、確認することで、他者の意見のよさを認めたり、自分の意見を深めたりすることができるようにする。</p> <p>◆活動を存続させるために必要なことを考えることが難しい児童には、他の児童の意見の中で、納得ができるものがあるか問い、自分の意見をもつことができるようにする。</p> <p>☆友達の考えを受け入れ、それぞれの考えのよさを生かしながら探究的な活動に取り組もうとしている。 (主① 行動観察・振り返り)</p> <p>◇本時に係る資質・能力（めざせ！パワーアップ）について意識させることで、児童一人一人が身に付けた力に気付き、今後の活動への意欲を高められるようにする。</p>
---	---

小学校3・4年生 「ともにいきる」

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月以降
<p>〈4年生〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年生に昨年度のグループ活動の内容を伝える準備をする。 ・里山とは何か調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4年生から3年生へ昨年度の活動内容を伝える。 ・興味をもったグループに希望を出し、グループを決定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループのテーマに沿い、里山づくりのためにできることは何か考え、必要なものを調べたり計画を立てたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家から森林や里山の話聞き、改めて自分たちの活動と里山づくりとのつながりを見いだす。 <p>☆賀茂地方森林組合の方から里山の話聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・里山の見学に行き、見たり聞いたりしたことから自分たちができることを実行に向けて考える。 <p>☆里山に行き、植物や動物について説明を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに、地域の人の協力を得ながら活動を行う。 <p>☆地域の畑を使って耕作を行う。</p> <p>☆きこりやでアロマ作りの見学や竹を利用したものづくりを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの思いや考えを実現させるために必要なことを考えたり、行ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの活動を誰にどのようにして伝え、続けていくかを考える。

里山を見に行こう！

賀茂地方森林組合の方の協力のもと、福富町にある里山を見学した。実物を見ながら植物や森林の説明を受け、質問に答えていただく中で、自分たちのグループで活用できそうな植物を知ったり、里山づくりのためにできることを考えたりする機会となった。



地域の畑を助けよう！

畑グループは、畑づくりが困難な人を助けることで、田畑が荒れた場所になることを防ぎたいと考えた。そこで、地域の方に手紙を渡して、畑づくりに困っている方を探した。

その結果、地域の方の畑を利用して大根を育てることになり、自分たちで土づくりの方法から調べ、活動を行っている。



<主体性を育む取組> 専門家から里山について学ぶ。

グループ活動の計画をする途中で、賀茂地方森林組合の方から里山について学ぶ機会を設けた。そこで学んだことをもとに、その後児童は活動を進める中で、目的を意識することができ、里山づくりのゴールのために何をすべきか、何ができるかを自ら考える様子があった。

<協働性を育む取組> 児童同士の関わりを促すファシリテート。

異学年間での活動の中で、一部の児童だけで進めることがないよう、意見を言いづらい児童に対してどう思っているかを教師が問い、発言するように促したり、グループ活動の中で役割分担をするようにアドバイスをしたりするファシリテートを行った。友達の意見や考えに耳を傾ける姿が見られた。